

生命行政支え 理念継いで

元保健師 ミヨさん急逝

全国初の乳児死亡ゼロ達成の立役者で深澤生命行政の第一線で活躍された元保健師・高橋ミヨさんが5月18日心不全のため急逝されました。

22日自宅で行われた葬儀には87歳の天寿を全うされたミヨさんの村勢功労者としての功績を讃え、感謝を込めて告別式となりました。

ミヨさんは深澤村長亡き後も生命尊重の理念を自らの職務を通じて後進保健師の指導にも寄与されました。深澤村長が教育長時代に女性の社会参加を促して婦人会を組織した原点に立って、退職後は沢内村婦人連絡協議会事務局長として活躍しました。また、深澤晟雄の会に所属して「深澤生命行政の語り部」として、つい最近まで健在で多方面の求めに



一関准看護高等専修学校生を資料館に迎え、自らの体験・生命尊重理念に徹する誇りと喜びを語るミヨさん(右)。深い感動に包まれて真剣に聞き入る学生の皆さん。(平成23年6月)

応じていただきました。

ミヨさんと職場を共にした元保健師・深澤久子さんは吊辞で、「ミヨさんが深澤村長時代の思い出でよく話されたのは、村長が「どこそこの赤ちゃんは元気かな」と聞かれるので、ぼやぼやしていられたかったと、赤ちゃんの命を守る姿勢を教わりました。それに猛吹雪の炭焼き小屋への訪問は、沢内の伝説としていつまでも

語りつがれることでしょう。

いつもニコニコされて包容力あるお人柄は誰からも慕われ、頼りになる住民の母親的存在であり、私がお手本とする保健師の鏡でもありました。今、自分がこうして西和賀にいられるのは、先輩保健師長のミヨさんのお陰だと思っています。ありがとうございます。ありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。

晟雄の会総会 29日に

新たな会員を募集中です

25年度深澤晟雄の会総会は6月29日午後5時から農家レストランおよねで開かれます。

状の提出と年会費2千円をお願いしています。

今回の総会では24年度事業報告と決算、25年度事業計画と予算のほか役員改選も行われます。深澤晟雄の会会員には本会の地域担当者が、総会案内とともに欠席者には委任

また、この機会に生命尊重の深澤精神を共にする仲間を募っています。希望者は下記事務局に電話、または総会当日、受付に申し出て会議に出席して下さい。皆さんのご参加をお待ちいたしております。

金一封に感謝

神戸市灘区 森口 育子様
島根県松江市 岩田 昭夫様

西和賀で 地域保健調査会を語る

～ 武見太郎日本医師会長のメッセージ ～

西和賀地域保健調査会は深澤村長急逝3ヶ月後の昭和40年4月18日に設立され、全国初(世界初ともいわれる)の地域保健調査会が発足しました。

その1年後の同会総会に講師に招かれた武見太郎日本医師会長が急用で欠席、代理講師の勝沼晴雄東大教授にメッセージを託し、総会の席上で勝沼教授から紹介されました。

地域保健調査会 西和賀で全国初

沢内村の故深澤村長のご来訪を受けて私がこのお仕事に関心を持ったのは4年前でありました。私は深沢村長の地域開発における人間尊重の精神に心から共鳴してできるだけのご援助をお約束をいたしました。

私の医師としての血の中に無医地区や僻地の健康問題は一生離れない大きな問題であります。私が御地を訪問したとき感じたことはこの地域の健康問題は必ず解決できるということでした。それは医師を中核とした全住民と自治体幹部一体となって教育、心身の衛生さらにその前進すべき

当時の武見太郎日本医師会長



目標を打ち立てる体制がすでにでき上がっていたからで、これは私にとっても大きな驚異でありました。

私どももできるだけのお手伝いをさせていただきましたが、この地域が日本で最初の地域保健調査会発生の地となったことはゆえなきではないと思います。

地域保健調査会の発足を私は昭和25年社会保障制度審議会の第1回勧告の中で自ら起案者として強く主張いたしました。これが西和賀地域保健調査会となって最初に実現され、そして本日、本年度の総会が行われますことは私なりの大きな感慨を持つものであります。

調査会なしには

目標達成は困難

地域保健の問題は日本におきましては、その地域の自主的な努力を中核として地方自治体及び医学の新しい展開をまっぴらに始めて解決できるものであります。そしてそのしめくりが地域保健調査会の活動となってさらに前進の体制をとるものであります。

のではありません。したがって地域保健調査会は現在の医療関係諸制度が縦割りであることの欠点を是正する最大の武器であります。そしてさらに自主的に地域の保健体制、さらに福祉立地論の実践への自らの進路を決定し、これを実践する大きな役割を果たすものと、私は強く期待しております。

調査会の設置なしには将来への目標がいかにように高からうと到着の過程が極めて困難になります。

私は過去においてすでにすばらしい成果を上げられた西和賀地域保健調査会こそ、全国的にその真価を問うべきものであると固く信じます。地域保健くらい地域特性と結んだも



第1回西和賀地域保健調査会総会と第4回地域保健研究会
(昭和41年5月29日/湯田町役場)